

# 平成30年度 病害虫発生予察情報 注意報 第2号

平成30年5月30日  
発表：福島県病害虫防除所

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病（本年度2回目）
- 3 対象地域：全域
- 4 発生量：多い

**今後の降雨や強風で、激発するおそれがあります。**  
**梅雨入り前に、春型枝病斑・発病葉・発病果実の除去を徹底しましょう！**

## 【発生状況】

- (1) 5月下旬の調査において、春型枝病斑の発生ほ場割合は、福島地域、伊達地域ともに平年並でしたが（図1）、新梢葉での発生ほ場割合は、伊達地域で平年より高く、福島地域で平年並でした（図2）。また、果実での発生も確認されています。
- (2) 天候予報（5月24日発表1ヶ月予報）によると、向こう1ヶ月は平年並に曇りや雨の日が多いと予想されています。

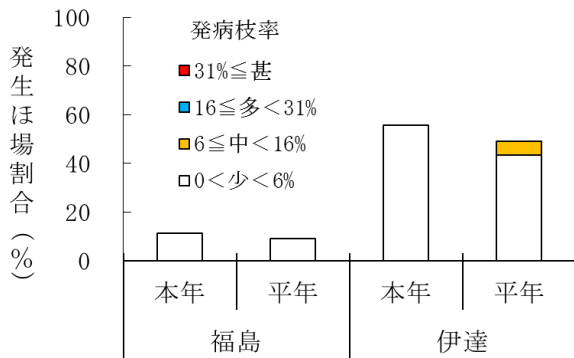


図1 春型枝病斑の発生状況（5月下旬）

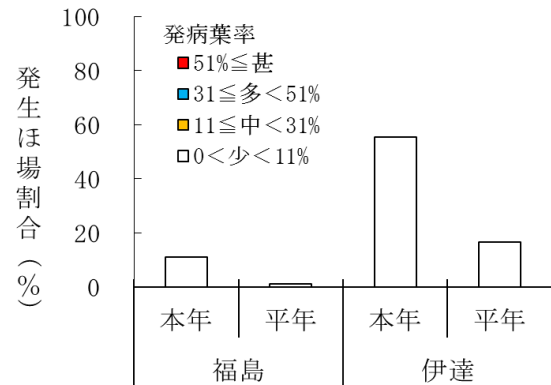


図2 新梢葉での発生状況（5月下旬）

## 【防除対策】

### (1) 耕種的防除

- ・ほ場での発生状況をよく確認し、春型枝病斑（図3）または疑わしい枝を早急に除去してください。また、発病葉・発病果実（図4、図5）は二次伝染源となるので、徹底して除去してください。除去した枝、葉、果実は、園外に持ち出し、土中に埋設するなど適切に処分しましょう。
- ・発生が多いほ場では、仕上げ摘果後速やかに袋かけを行ってください。
- ・今後の発病を抑制するため、防風ネットを設置するなど、防風対策を行いましょう。

### (2) 薬剤防除

- ・今後、梅雨期を迎えるため、天候に留意しながら、7月まで10日ごとにせん孔細菌病防除剤を降雨前に散布してください。その際は、薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意してください。また、同一薬剤の連用は耐性菌の出現のリスクがあるので、連用せずにローテーションしながら使用してください。

病斑部（葉・果実・枝）は、確実に除去しましょう。  
摘果作業時も常にハサミを持ち、粘り強く徹底して除去しましょう。



図3 春型枝病斑



図4 発病葉



図5 発病果実

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）までご連絡ください。本情報は、福島県病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）でも御覧になれます。  
TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727